

4月 りんご生産情報



令和5年4月発行
JA つがる弘前
岩木地区営農係

今後も気温は高く推移し、開花も早まる予想となっております。
マメコバチや人工授粉など結実確保に向けた準備を行いましょう。
黒星病の重点防除時期となっておりますので、散布量・散布間隔・降雨前散布を徹底しましょう！

☆ふじの生態 4/14 現在 ※色塗りは予想となります。

地点	生態	発芽日	展葉日	開花日
五代		3/23	4/4	4/24
百沢		3/30	4/10	4/29
吉川		3/30	4/8	4/27
大秋		4/6	4/15	5/5
小沢		3/26	4/6	4/26
りんご研究所		4/6・(4/7)	4/3(4/18)	4/24 (5/7)

りんご研究所は（）が
平年となります。

※予想値は気温が平年より3℃高く推移した場合となります。
※開花予想は今後の気温により大きく変動する可能性があります。

☆病害虫防除

黒星病の重点防除時期となります。散布量・散布間隔・降雨前散布を徹底しましょう。

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	薬剤名 及び調合順序	倍 数	1,000ℓ 当り薬量	防除上の注意
3 (350ℓ)	ふじの 落花直後 (5月上旬)	ミギワ 20フロアブル チオノックフロアブル アタブロンSC	4,000 倍 500 倍 4,000 倍	125 ml×2 本 2ℓ×1 本 250 ml×1 本	○黒星病重点防除時期 ○リンゴハダニの見られる園地ではバロック(F)2,000 倍又はピラニカ(水)2,000 倍を散布しましょう。
4 (420ℓ)	ふじの 落花 10 日後 (5月中旬)	ユニックス顆粒水和剤 ジマンダイセン水和剤 エルサン水和剤 クレフノン	2,000 倍 600 倍 1,000 倍 100 倍	500g×1 袋 1.67kg×1 袋 1kg×1 袋 10kg×1 袋	○マメコバチの活動が見られる場合は、殺虫剤を 落花 20 日以降に散布しましょう。
5 (420ℓ)	ふじの 落花 20 日後 (5月中旬)	デランフロアブル クレフノン カルマッチ	1,500 倍 100 倍 770 倍	333 ml×2 本 10 kg×1 袋 1.3 kg×1 袋	○クワコナカイガラムシの発生の多いところでは アブロードフロアブル 1,000 倍で胴木洗いを 行いましょう。(年間使用回数 2 回以内)

☆人工授粉

近年、園地によってカラマツや斜形果などがみられるので、積極的に人工授粉を行いましょう！
貯蔵花粉が無い場合は開花の早い品種（王林など）を開薬して使用しましょう。

人工授粉の 作業目安	花の採取量 1 手かごで約 20～30a 分とれます（王林で乾燥薬おおよそ 50cc） ラブタッチ 作業量 10a 当たり 2 時間程度（凡天授粉の 1/4） 花粉使用量 10a 当たり 花粉 20g + 石松子 80g
---------------	--



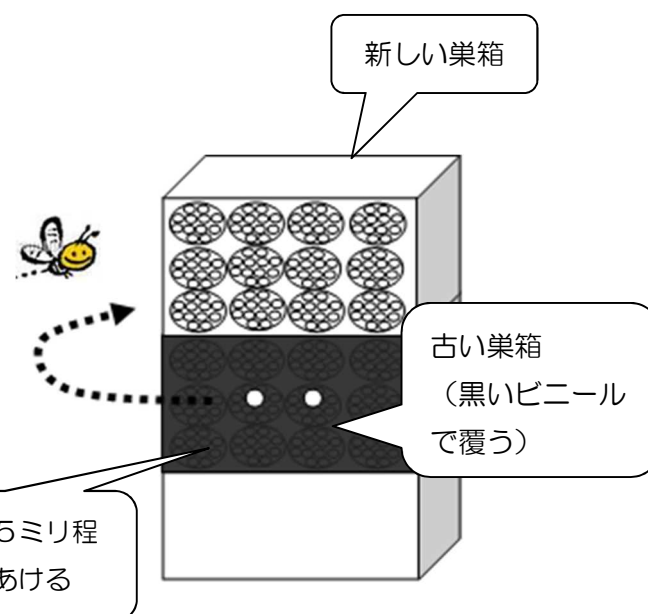
めしべの授粉能力は開花後 4～5 日あります。降雨などで不順天候があっても花が乾き次第授粉することができます。
貯蔵花粉は下表を参考に発芽能力の高い品種の花粉を採集しましょう。

花粉発芽可能温度	品 種
10℃	はるか、ふじ、世界一、シナノゴールド、金星
15℃	ひろさきふじ、トキ、紅玉、きおう、つがる など

※自園地の品種の交雑和合性を確認しましょう。

☆マメコバチの管理

- マメコバチは温度変化を感じやすく、低温だと活動が鈍ります（18℃で活発に活動）。
日当たりの良い南か東向きに設置しましょう。
- 防鳥網の内側に土取り場の穴をほり、乾燥しないように散水しましょう。
- マメコバチの巣箱は 6 月下旬頃までは動かさないようにしましょう。
- アシガヤは右図の交換方法を利用して 3～5 年を目安の交換しましょう。
- 巣箱は 60～80m 間隔で設置しましょう。



今年度も各地区開薬所（岩木・東目屋・小沢）をぜひご利用ください！！